



さいたま新都心に一番近い学校

下落合小だより

学校教育目標 よく考える子 思いやりのある子 明るく元気な子

令和 5 年 9 月 号
令和 5 年 8 月 2 9 日
さいたま市立下落合小学校
電話 852-2280
FAX 852-0188
E-Mail
shimoochiai-e@saitama-city.ed.jp

☆開校 70 周年スローガン☆
はばたけ！かがやく未来

人づくりは まちづくり
～地域の教育力をいかして～

校長 馬場 広美



今年の夏は、記録的な猛暑となりましたが、5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類へと移行したことで全国の観光地などの賑わいも見られ、子どもたちは、人との触れ合いや有意義な体験を多くできたと思います。

7月15日(土)、16日(日)には、与野夏祭りが4年ぶりに開催されました。このお祭りは、宝永年間(1704～1711年)から続いていると言われる歴史あるお祭りです。当日は、本校の教職員もお祭りに出向き、子どもたちが、子ども神輿を元気に担ぐ姿を見ることができました。また、お祭りの熱気や地域のつながりを強く感じることができました。

さて、7月4日(火)に、第1回学校運営協議会を行いました。学校運営協議会は、「さいたま市学校運営協議会規則第9条」により、地域住民、保護者、学識経験者、関係行政機関の職員、本校職員で委員が構成されています。本年度の学校運営に関する基本的な方針を校長より説明し、委員の皆様にご承認いただきました。*コミュニティ・スクール(CS)は、地域住民や保護者等が学校運営に参画し、連携・協働して学校運営に直接関わる仕組みです。

『子どもたちが達成感を味わったり、他者から褒められたり、認められたりする』ために、学校・家庭・地域でできることは何か」をテーマに、委員で熟議を行いました。

＜熟議で出された意見(抜粋)＞

- ◇家の中で役割を与えることがよいのではないかと。責任ある手伝いを親子で決める。
- ◇家庭や学校で、常に「失敗してもいい」と声をかける。達成することの喜びに導く。
- ◇家庭で、学校の様子を話したり聞いたりすることにより、子どもを褒めたり認めたりすることができ、達成感につながる。
- ◇地域で登下校の様子を見守り、挨拶を交わし、子どもに存在を感じさせる。

予測困難な時代を生きていく子どもたちを育てていくためには、「子どもたちが自ら課題をつかみ、自ら答えを出していく」新しい学びが必要です。今後も、下落合小学校を支える地域の特色や強みを最大限いかし、教育活動の充実に努めてまいります。



第1回学校運営協議会

2学期が始まりました。3名の転入生を迎え、全校児童830名での2学期のスタートです。2学期は、昨年度から実行委員会の皆様を中心に準備を進めてきた「開校70周年記念事業」が実施されます。(記念アート、縁日・映画会、タイムカプセル開封式、記念式典など)子どもたちの心にずっと残る機会となりますよう、御協力をお願いいたします。

2学期当初の時期、動き出してから勢いがつくまでの間、子どもたちは最もエネルギーを消費するところです。お子様のことので気になること、御心配なことがありましたら、遠慮なく学校まで御相談ください。

